

1 統計が日本シリーズを制す (か) !

・ 日本シリーズは、ロッテの三連勝で想定外の展開となりました。このロッテの快進撃を報ずるスポーツ新聞に、「統計」の二文字があったことに気がつきましたか？日刊スポーツ 2005. 10. 20 は、「統計アナリスト」の存在を次のように報じています。

「 阪神は既に丸裸だ。ロッテの統計アナリスト、ポール・プボ氏 (58) が阪神のシーズン全 146 試合のビデオ分析を既に終えていることが分かった。年間の全投球、全プレーから導き出される膨大な量のデータは、日本シリーズでも日替わり打線や投手交代の心強い目安となる。一方、阪神は 7 年ぶりの屋外シリーズを前に寒さ対策を万全にして臨む。」

・ 大リーグでは、アスレチックスのビーンGMが出塁率と長打率を重視した選手獲得 (契約金の縮減) によりチームを常勝チームに導いたことが話題となりました。こうしたロッテ、アスレチックスの事例は、課題解決に統計が大きな力となることを示しています。

・ 県民生活においても、私たちの日常生活や経済活動に統計を活用していくことで、より快適な県民生活が実現できたり、より良い結果を得ることができるはずです。皆さんも、日々の生活の各局面で「自分だけの統計アナリスト」になってみませんか。

2 統計を見る視点 (その1)

・ 県経済統計室が先月発表 (17. 9. 27) した工業統計速報では、静岡県の工業力 (平成 16 年製造品出荷額等) は愛知県、神奈川県に次いで全国第 3 位となっています。しかし、静岡県が昔から全国第 3 位だったわけではありません。20 年前 (昭和 59 年) は全国第 7 位でした。「温故知新」、工業に限らずその足跡や実態を把握し分析する中から新たな可能性が生まれます。

・ 一方、経済産業省は静岡県内への企業立地状況を毎年「工業立地動向調査結果」で公表していますが、企業の県内への新たな立地は県内生産施設を増加させるものであり、言うなれば工業力 (静態統計) に対する増加要素 (動態統計) と見ることができます。

・ このように、人口統計では一般化している静態統計 (各時点の人口) と動態統計 (出生・死亡) との組み合わせを、工業統計や商業統計に応用すれば、本県の産業をより多角的に把握することができるはずです。時系列データ (各年度数値)、静態統計、動態統計等々、知恵と工夫で統計活用は無限に広がっていきます。詳しい内容については、次号で本県データを示しながら概観していくことにします。



(県商工労働部 HP「企業立地件数日本一」)